

大久保市長

皆さんおはようございます。

記者会見へのご出席ありがとうございます。

いつも定例会見は年間 4 回市議会に合わせて議案の説明など行っていますが、これからは市のトピックスなどもお伝えします。

急遽の開催へのお集まりありがとうございます。

今日のお知らせは、「道の駅 251 いいもりじゃがーロード」の開駅日が令和 7 年 11 月 1 日土曜日に決定したご報告です。

当日は 10 時から道の駅で開駅式典を行いテープカット後グランドオープンします。

既に現地の建屋は完成し、直売所を担うフレッシュ 251 は試行的にオープンしています。

駐車場などが完全に整備が終わって 11 月 1 日にオープンになります。

諫早市では初めての道の駅です。

令和元年度から整備を進めてきました。

目的は道路利用者の休憩情報施設として、第 1 次産業の振興拠点として、地域の皆様や市内外の方が交流できる施設にと整備してきました。

場所が、251 ということで国道 251 号線、長崎市と島原半島を結ぶ結節点です。

周りが基盤整備された県内でも優良な農地が広がり、段々畑を上った先から橘湾を一望できる自然豊かな土地です。

日本風景街道、また、サイクリングルートへのアクセスも良いことから、観光周遊の拠点となると思われます。

畑の高台にあるので防災拠点としても、有事の際は一時避難所として活用できると考えています。

施設の中の直売所では諫早産の新鮮な野菜や果物や花、魚や貝類、タコ、海産物、その加工品、お土産品も準備予定です。

施設の中には、多目的交流スペース、体験・研修室、芝生ひろば、軒下ひろばなど、自由に利用できるスペースを準備し、諫早の特産品を活用したイベントやいろんな体験講座も実施する考えです。

また駐車場には EV 充電器も設置し、電気自動車を利用する方も安心して施設を利用できます。

高台にあって有事の際の一時避難所ということで、施設内に水や非常食や毛布などを備蓄する防災倉庫、また、非常用発電設備も完備し、防災の一つの拠点としての役割も担えると思います。

諫早で初めての道の駅ですが、道の駅本来はその道路利用者に対するサービス提供が主な目的であった第 1 ステージから、その道の駅自体が目的地となる

第2ステージ、それを踏まえて今後はこの道の駅を拠点に、飯盛地域から諫早市全体の地域振興に繋げていく第3ステージへと移行するその拠点としての役割を担ってもらおうと思います。

今年は市制施行20周年で歴史的な節目の年でもあり、この記念すべき年に諫早市初の道の駅が開駅できることは非常に喜ばしく、11月1日の開駅までしっかりと準備を進めますので、市民の皆さんと11月1日を一緒に喜びながら、道の駅を盛り上げていきたいので、よろしくお願いします。

もう一つ、この道の駅のロゴマークが決まったことをお知らせします。

ご覧のように飯盛地域の段々畑をモチーフに、まさに生き生きと動きがあるロゴマークになっています。

生産者、消費者それぞれ思考や世代も違い、それぞれの個性を尊重しながらこの飯盛の地で繋がって一つになっていく、そういう願いを込めた形になっています。

ロゴに使用しているオレンジ、これは畑、ジャガイモ、太陽、人をイメージしており、ブルーグリーン、これはこの地域の海や森、山、空をイメージしております。

様々な要素が混じり合って引き立て合う様子を、まさにこの地域の飯盛らしさを表現しています。

これからこのロゴマークも活用し、「道の駅 251 いいもりじゃがーロード」を皆さんから愛される施設となるようにしていきたいと思います。

どうぞ今後ともよろしくお願いします。